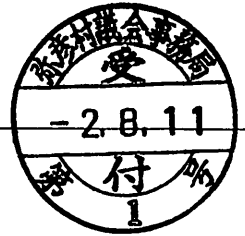


令和 2 年第 8 回 弥彦村議会 9 月 定例会

一般質問通告書

1	・小林村長の 5 年半を振り返って	古川七郎
2	・コミュニティー・センターの果たす役割について	板倉恵一
3	・弥彦枝豆共同選果場の建設と枝豆の商品化、ブランド化の戦略と計画の進捗状況は	渡邊富之
4	・保育園の実状と保育園職員の待遇について	那須裕美子
5	・新潟明訓校 100 周年事業に発祥の地として参画しては	柏木文男
6	・人口減対策について	丸山浩
7	・競輪個別外部監査の結果報告は ・弥彦公園管理について	本多隆峰

弥彦村議会



一 般 質 問 通 告 書

次の事件について、弥彦村議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問を
通告いたします。

令和2年8月11日

質問者 弥彦村議会議員 古川 七郎



弥彦村議会議長 安達 丈夫 様

件名	小林村長の5年半を振り返って	答弁者 氏名	村長
----	----------------	-----------	----

新型コロナ感染拡大の終息がまだまだ見通せない厳しい状況ですが、村民への安全・
安心、観光への影響等について村の現状、対応を最初にお伺いします。

次に通告に従って、村長に就任して約5年半を振り返って、財政状況は良くなったの
か。今後の財政の課題、村の財政が進む道をお伺いします。

① 基金(預金)残高 *特別会計を含めた合計 (単位:千円)

安達村長、最後の年(平成15年3月末)	大谷村長、最後の年(平成27年3月末)	小林村長、令和元年度
2,411,980	1,326,230 前対比 マイナス -1,085,750	1,779,497 前対比 プラス +453,267

小林村長は、二期目「さらに前進!弥彦村」をスローガンに公約は6つ、その柱には
「財政強じん化」を挙げました。上記①の基金も令和元年度には、プラス4億5千3百
万円に好転をしました。その要因はどこにあるのか。また、今後の課題はどこにあるの
かお聞きします。合わせて、下記の村債の増減についても説明を求めます。

② 村債 (単位:千円)

安達村長、最後の年(平成15年3月末)	大谷村長、最後の年(平成27年3月末)	小林村長、令和元年度
2,742,752	3,166,855	3,027,215

③ 競輪基金

大谷村長	平成26年度
基金	891,000

小林村長	平成30年度
基金	1,170,000

(単位：千円)

令和元年度までの主な支出

内訳	一般会計繰出金	250,000
	競輪会館空調	51,840
	ナイター照明設備設置	248,400
	競輪会館改修工事	46,440
	新観覧席等設計	29,880
	計	626,560

令和元年度より、令和5年度までの支出予定

内訳	一般会計繰出金	350,000
	新観覧席等新築	680,000
	セダーハウス改修	200,000
	観覧席等改修	100,000
	バンク等改修	200,000
	計	1,530,000

令和5年度基金残高予定

1,140,000

上記② 競輪の基金は、10億円以上は確保する必要がある。村長一期目の最終年である平成30年度では約11億。一般会計への繰出、ミッドナイト競輪、ナイター競輪、新観覧席の新築、セダーハウスの大改修等々さまざまな改革を行ってきた。しかし今後について、公営ギャンブルとしての競輪は厳しい状況が予想される。幸いにも来年度は、寛仁親王牌が再び開催されることになり大いに期待をしているところである。令和5年度の基金残高予定は、平成30年度と同程度が予想されている。今後の競輪事業の見通しをお聞きします。

「財政強じん化」について課題は山積しているが着実に一步ずつ前に進んでいる。その中の目玉である枝豆。今年度は、当初予算に枝豆の共同選果場建設事業として3千万円を計上してスタートをした。それらも含めて、小林村長の「財政強じん化」についての覚悟をお聞きしたい。

最後に、大谷村長最後の年には基金が前年比マイナスであったが、令和元年度には基金が約4億円のプラスになった。その要因はどこにあるのか。

- ① 競輪の収益が上がった原因は、どこにあるのか。
- ② ふるさと納税による村税の増加は、今後も見通せるか。
- ③ おもてなし広場、駅前広場の完成により観光客の流れも大きくかわり、弥彦のイメージも一段と良くなった。
- ④ 村の基幹産業である農業、儲かる農業の振興をどのように考えているのか。
- ⑤ その他

以上



一般質問通告書

次の事件について、弥彦村議会会議規則61条第2項の規定により、一般質問を通告いたします。

令和 2 年 8 月 17 日

質問者 弥彦村議会議員 板倉 恵一



弥彦村議会議長 安達 丈夫 様

件名	コミュニティ・センターの果たす役割について	答弁者氏名	教育長
<p>終戦後、戦時体制を支えた「町内会」は軍国主義的な団体として、GHQによって解散を命じられましたが、1952年に禁止令が解かれ、全国的に再組織されました。</p>			
<p>昔から地域・町内会の人が集まる「場」として各市町村に「公民館」があります。ここで皆さんそれぞれの情報交換をしたりコミュニケーションを図ったり、簡単なレクレーションを行っております。ここは各自治体が設置した集会施設で、児童館、青年の家なども有り、地域住民の皆さんは、これらを積極的に利用してまいりました。</p>			
<p>一方弥彦村にも地域を支える存在として、公民館、老人憩いの家もあります。始めに弥彦総合文化会館は、公民館を併設していますが、この建物は、「何時」「何の目的で」造られたのでしょうか。その他にも公で使用される建物で「コミュニティ・センター」と言われる施設があります。コミュニティという言葉が盛んに使われたのは1960年代から'70年代にかけてです。1969年に国民生活審議会が、高度成長後の日本社会の問題として、高齢化・余暇・コミュニティの問題、そして情報化という問題を抽出し、その現状や動向、今後の展望について4点を取り上げ検討した「コミュニティ生活の場における人間性の回復」についての報告書を発表しました。</p>			
<p>その後、全国各地に、コミュニティ・センターが出来たとされており、コミュニティ・センターは通称コミセンと言われており、特徴は公民館機能を拡充強化するとともに、住民学習、文化及び自治会、福祉、環境などの地域の総合的な活動拠点としての機能を有するところでもあります。</p>			
<p>つまり、コミュニティ・センターは公民館の機能を保持したうえで、地域と行政のつなぎ役として、住民への的確な情報提供や各種情報の連絡調整、さらには地域諸団体への側面的支援や自立支援の役割を担っていると思います。そうした時、本村では行政サービスを、コミュニティ・センタ</p>			

一の中でどの様にとらえているのでしょうか。

1. 弥彦村コミュニティ・センターは「何時」「誰を対象に、何を目的して」造られたのでしょうか。

2. 現在、この建物の稼働率がすこぶる悪いという話を聞きます。

本来の目的や役割が整理されないまま運営がなされていると感じますが、コミュニティ・センターの過去20年間の利用状況を各部屋ごとにお聞かせ願いたい。



一般質問通告書

次の事件について、弥彦村議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問を通告いたします。

令和 2年 8月 18日

質問者 弥彦村議会議員 渡邊 富之



弥彦村議会議長 安達 丈夫 様

件名	弥彦枝豆共同選果場の建設と枝豆の商品化、ブランド化の戦略と計画の進捗状況は	答弁者 氏名	村長
<p>村における財政力の強化の具体化について、村長は並々ならぬ決意をもって、弥彦村営競輪の売り上げ増加策として寛仁親王牌の誘致の他、村の特産物のブランド化とふるさと納税の自主財源繰り出しと次の一手として、伊彌彦米に続き枝豆を育て上げるための青写真を描きながら計画から一つ一つ実行へと移されております。</p>			
<p>私も、超早生品種のやひこ娘から茶豆や肴豆に至るまで切れ目のない集荷と出荷が必須要件と考えております。枝豆は御承知の如く鮮度が命です。朝採りで当日のうちの出荷か、翌日のための出荷用に予冷库に収納し、摂氏5度前後で保冷することが求められております。</p>			
<p>さて、先日、議員有志5名で新潟市南区白根にあるJA新潟みらいの共同選果場と大戸の農事組合法人の圃場と共同選果場を視察してまいりました。</p>			
<p>JA新潟みらいの選果場は最後の工程である出荷用箱詰め作業は人海戦術でありましたが、受け入れから選別、洗浄、乾燥、計量、パッケージの袋詰めに至るまでオートメーションでした。</p>			
<p>驚いたことに、最終的に商品となる枝豆はざっと7割程、A級品、B級品の合計です。約3割は、商品として日の目を見ないのです。歩留まりの悪さです。それと想像を超えた大量のチラー水が洗浄に使用されていたことです。何れもコストに跳ね返ります。原単位がいくらかをはじく必要があります。さて、①スケジュールによれば令和3年9月選果場が竣工予定となっております。</p>			
<p>建築、設備工事共に入札から7ヵ月で竣工。かなりタイトな日程ではないかと危惧しております。</p>			

保育を受け入れる機関が弥彦村には無い為、保育園だけに負担がかかり、結果、ひっ迫した状況となっている。本来であれば子育て支援センターに準ずる様な一時保育が出来る機関を設けてい

弥彦村総合コミュニティセンター 年度別利用状況

令和2年9月7日 板倉議員一般質問関係資料

名 称	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	
研修室和室	0	0	0	0	0	0	1	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修室洋室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ｺｰﾅｰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ｷﾞﾔﾘｰ	0	0	0	0	0	0	0	0	5	241	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0
多目的ﾎｰﾙ	4	400	8	757	9	1,086	9	824	8	676	7	907	12	1,359	15	2,102	16	1,246	2	50	
多目的室	6	233	6	176	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ｺﾐｬﾆﾃｨﾜｸｼﾞﾝｸﾞ	0	0	0	0	7	268	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0
全館	70	5,738	75	5,362	68	4,980	62	4,925	72	4,332	102	22,646	59	4,167	66	2,909	32	4,375	74	4,261	
計	80	6,371	89	6,295	84	6,334	72	5,815	85	5,249	110	23,568	71	5,526	83	5,030	48	5,621	76	4,311	

名 称	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	利用 日数	利用 人数	
研修室和室	87	1,183	33	427	58	770	36	749	0	0	4	95	1	10	0	0	0	0	0	0	0
研修室洋室	52	557	21	183	0	0	32	451	1	11	1	20	0	0	5	39	4	57	1	12	
映像ｺｰﾅｰ	2	28	0	0	0	0	1	19	0	0	0	0	0	0	0	0	6	166	0	0	
ｷﾞﾔﾘｰ	10	73	0	0	25	507	14	479	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	148	
多目的ﾎｰﾙ	31	1,288	16	680	52	797	30	1,035	23	1,196	6	308	14	529	14	1,128	10	875	8	1,338	
多目的室	0	0	3	104	9	270	13	773	22	627	12	194	8	537	4	93	5	52	7	437	
ｺﾐｬﾆﾃｨﾜｸｼﾞﾝｸﾞ	0	0	0	0	0	0	5	121	8	506	0	0	0	0	3	19	4	480	0	0	
全館	9	807	30	2,447	55	3,472	71	6,797	40	4,077	53	6,176	53	4,808	43	5,264	39	4,223	64	4,126	
計	191	3,936	103	3,841	199	5,816	202	10,424	94	6,417	76	6,793	76	5,884	69	6,543	68	5,853	86	6,061	